

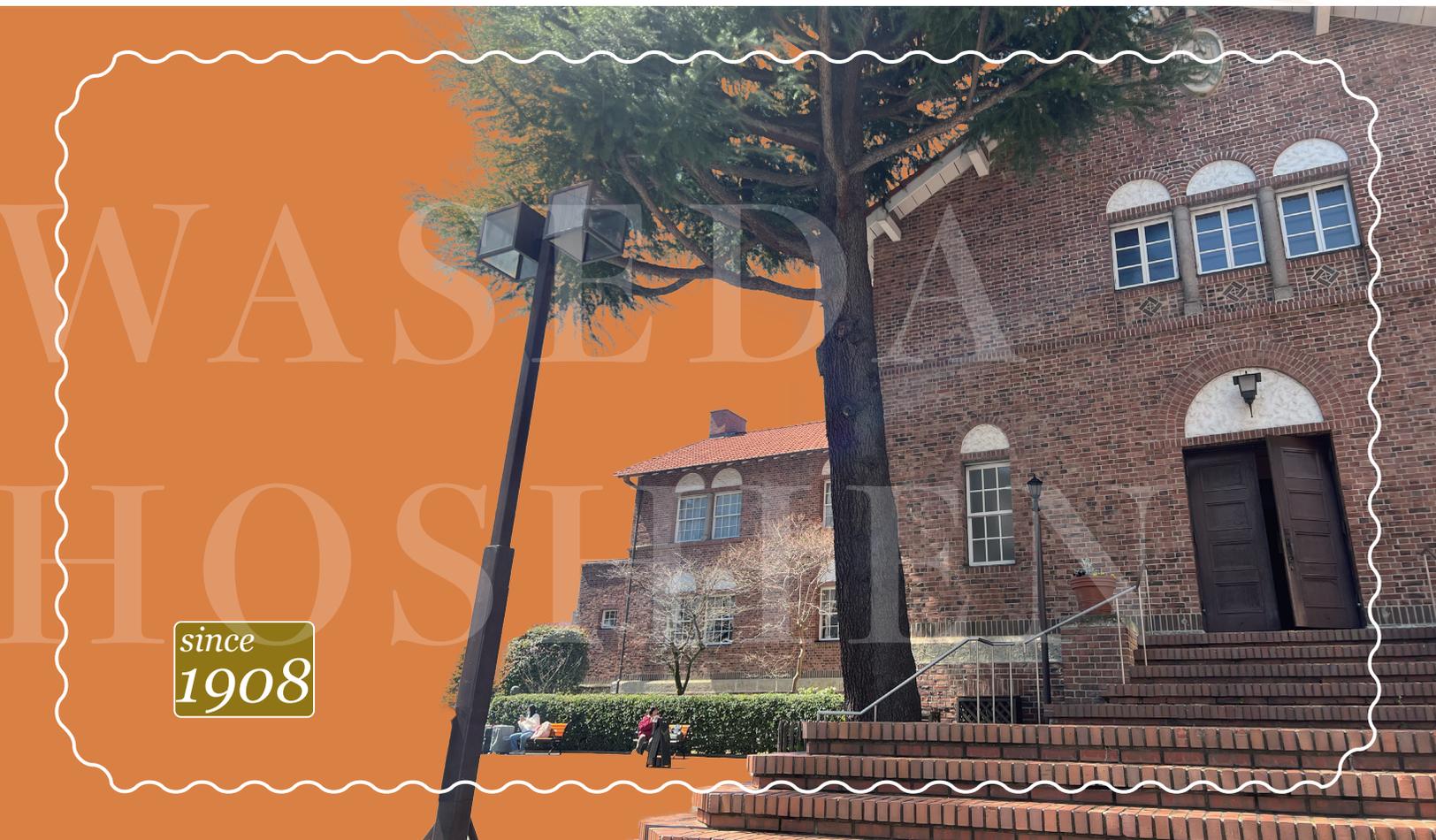
公益財団法人 早稲田奉仕園

2024 年度 年次報告

【2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日】

ANNUAL REPORT

WASEDA HOSHIEN ANNUAL REPORT



since
1908

早稲田奉仕園 園章

“

そこで、イエスは一同を呼び寄せて言われた。「あなたがたも知っているように、異邦人の間では、支配者と見なされている人々が民を支配し、偉い人たちが権力を振るっている。しかし、あなたがたの間では、そうではない。あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。」

”

マルコによる福音書 10 章 42 - 45 節
(新共同訳聖書)

公益目的事業

4

- 4 国際相互理解のための体験活動・普及啓発事業
- 7 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業
- 7 国際相互理解のための語学講座・その他講座事業
- 9 学寮運営事業

収益事業

12

- 12 セミナーハウス（会議施設・ホール施設の貸与）事業
- 13 駐車場・貸事務所等の賃貸、管理受託事業

財団運営報告

14

- 14 決算報告
- 15 役員等名簿

公益目的事業

■国際相互理解のための体験活動・普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding 沖縄フィールドワーク

5月3日～5日まで、沖縄フィールドワークを開催しました。国際学舎から留学生4名（アメリカ、シンガポール）と友愛学舎の卒舎生1名の計5名が参加しました。平和祈念公園や魂魄の塔、読谷村で沖縄戦の歴史を学び、辺野古・普天間・嘉手納では米軍基地問題について理解を深めました。参加者一人ひとりがそれまで見聞きしていた沖縄とのギャップに直面し、歴史をみる視点をそれぞれの生活に持ち帰る有意義な2泊3日となりました。



■日中韓大学生相互交流ワークショップ2024 in 京都

8月19日～25日にかけて京都で開催され、日本・中国・韓国から27名の大学生が参加しました。ワークショップ、パネルディスカッション、地域の社会問題をテーマにしたフィールドワーク、学生自身が企画したスタディツアーなど盛りだくさんの内容が組み込まれた一週間でした。参加者はそれぞれの活動に真剣に取り組み、多くの学びを得る充実した時間となりました。



■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進するプログラムです。6月20日の歌舞伎鑑賞は14名が参加、英語解説付きで留学生も初めての歌舞伎を楽しむことができました。7月には寮のロビーに笹を用意し、留学生による願い事が書かれた短冊が飾られました。また、3月にはひな祭りに合わせ、セミナーハウスロビーにひな人形が展示されました。



■祈りの人 渡辺禎雄型染版画展～齋藤治子コレクション～ Vol. 8

敬虔なクリスチャンであった渡辺禎雄は、生涯にわたり聖書を題材とした型染版画を作りました。普遍的なキリスト教と日本の日常性との出会いから生まれたその作品は、国内外で高い評価を得ています。第8回となる展覧会は、12月12日～17日までスコットホールギャラリーで開催、約50名の来場がありました。故齋藤治子氏のご遺族より寄贈された渡辺禎雄型染版画コレクションの中から、イエスの生涯の各場面を表した作品約20点を展示しました。



■所蔵作品の貸出

キリスト教美術の振興・発展および作品を通じてのキリスト教思想・文化への理解促進を目的として、渡辺禎雄型染版画の所蔵作品7点を、12月に房総にあるギャラリーに貸し出しました。

【お問い合わせ gallery@hoshien.or.jp】

▶房日新聞に掲載されました



国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

日本語ボランティアの会

日本語ボランティアの会は日本語を母語としない人々を対象に、実用的な日本語を学ぶ機会を提供しています。2024年度は対面クラスとオンラインクラスを並行しました。ボランティア講師の減少に伴い予約・事前マッチング制度を利用した活動を続けています。年間計84日（水曜日42日、金曜日42日）の授業、のべ参加人数はボランティア866名、学習者1,784名でした。ボランティアの方々が熱心に学習者を教え、日本語を必要としている人たちの大切な居場所となっています。



野宿者支援給食活動

月2回、渋谷で野宿を余儀なくされる方々へお弁当と保存食を届けています。活動に多くの学生や青年（準備に年間のべ349人、配食にのべ389人）が参加。合計4,010食のお弁当を準備し、年間のべ3,083人の方にお届けすることができました。お弁当の食材として学校（聖望学園中学校・高等学校他）の備蓄保存食を提供いただいたほか、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン、日本福音ルーテル帯広教会、そのほか個人からの食品寄贈も多くありました。また、大学から活動についての講演やフィールドワーク受け入れの依頼を受けました。2024年3月に早稲田教会よりいただいた寄付で新しく車両を購入し、より多くの物資と人の移動ができるようになりました。



共催：早稲田教会

国際相互理解のための語学講座・その他講座事業

多文化共生のためのボランティア講座

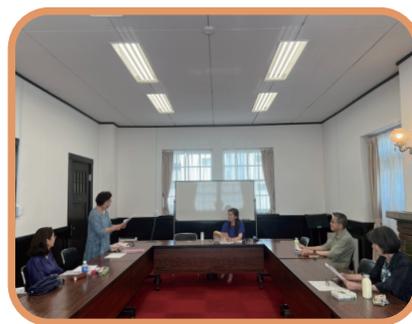
—地域における日本語学習支援について学びましょう—

茨城大学大学院助教、親子サークル「多文化ひろば あいあい」代表の福村真紀子さんを講師に招き、5月25日～7月20日まで全4回対面形式で講座が開かれました。7名が受講し、多文化共生についての理論知識を学び、参加者間でディスカッションしながら、多文化共生社会の創生に資するためにどのような支援ができるのか、地域日本語教室活動を例に模索しました。



■ Let's 朗読

朗読家・「VoiceK」主宰の飯島晶子さんによる「Let's 朗読」は、前期7名・後期6名が受講、コロナの状況も落ち着いたため、全8回を対面クラスで実施しました。朗読の基本や声の出し方などを学び、詩や物語の世界で感性を磨くことができました。受講生も朗読の定期的な発表会などに向けて練習に励み、着実に実力をつけています。



■ パイプオルガン・アカデミー

桐朋学園大学講師・早稲田教会オルガニストの水野均さんによる「パイプオルガン・アカデミー」では、のべ80レッスンを実施しました。受講生は11名で、幅広い年齢層の方が練習に励んでいます。2024年度は隔年開催の第2回オルガンアカデミー発表会を実施しました。

協力：早稲田教会



■ STUDY HALL

「STUDY HALL」は、主にアメリカなどで「自習室」という意味で使われます。あらゆる世代の人が、楽しく学べる場として、「近いこと、遠いこと、近くて遠いことを学ぼう」をテーマに、講座・トーク・映画上映会・写真展・ライブなどのイベントを不定期に開催しています。

● STUDY HALL vol. 42 僕たちは友だちなんだー幸せなら手をたたこう誕生秘話シンポジウム

4月6日、いのちのことは社から出版された漫画「幸せなら手をたたこう誕生物語」（西岡由香著、木村利人監修）を記念したシンポジウムを開催し、90名が参加しました。木村利人さんと漫画家の西岡由香さん、ジャーナリストの伊藤千尋さんと植村隆さんが登壇しました。木村さんはご自身が奉仕園学生会で活動され、YMCAのワークキャンプでフィリピンを訪れた際に「幸せなら手をたたこう」の着想を得たと話されました。



● STUDY HALL vol. 43 Visibility, Belonging and Identity—見えること、いること、存在すること— 映画「エミリーとブレイキー」上映&トーク + ミニLIVE

12月6日に、社会への違和感、自身の葛藤や孤独などを歌にしてきたシンガーソングライターで映像作家の三浦アークさんの映画上映会とLIVEをスコットホールで開催し、45名が参加しました。映画『キクとイサム』にも出演した歌手の高橋エミさんをゲストに招き、彼女たちにとって「音楽」とは何か、世代を超えて語り、歌で繋がる一夜限りのコラボレーションイベントでした。



■キリスト教講座「LGBTQ +とキリスト教：性と生の正義に向けての聖書の読み直し」

日本クリスチャンアカデミーとの共催講座として、聖書学者の山口里子さんを講師に迎え、56名が参加し開講されました。①「聖書によれば同性愛は罪」と聖書の権威を使って主張できないこと、②神の創造の業はセクシャリティを含めて、実に豊かで多様であること、③根深い父権制社会、それに染まったキリスト教変革の連帯の輪を広げることが課題とし、聖書のメッセージの豊かさに触れ、自らの抱える狭さと偏見から一歩でも踏み出していく学びを分かち合いました。

■学寮運営事業

■友愛学舎

1908年創設の大学学部生のための寮です。4年生3名、3年生4名、2年生3名の在寮生に加え、新1年生3名を迎えて計13名で寮生活を送りました。活動は、学期期間平日の「朝の会」での聖書研究や学生発表、寮生活について話し合う月一回の「舎生会」を行いました。また、年間活動としては、新入生のためのオリエンテーションキャンプを鎌倉で開催し、寮生活の意義や奉仕園・友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持ちました。「夕方の会」では、友愛学舎OBを招き、興味深いお話を伺うことができました。



■ゲストハウス

外国人留学生または日本人の大学学部生・大学院生、研修者向けの寮7室を運営しています。2024年度は新たに4名が入寮、3名が退寮し、のべ8名が在寮しました。

■国際友愛学舎

早稲田大学の交換留学生を中心とした外国人留学生、研究員のための寮 152 室を運営し、安全で快適な留学生生活をサポートしています。レジデントアシスタント（RA）も含め、留学生は 38 の国と地域からのべ 257 名が在寮しました。コロナ感染拡大により中止されていた RA のコミュニティールーム滞在は、日時を定めず事前告知制に変更のうえ再開されました。早大生生活課の呼びかけで早大寮・西早稲田寮・奉仕園の 3 寮で合同定例ミーティングを持ち、情報共有をしています。

(2024 年度)

アメリカ	61	中国	27	イギリス	21	韓国	19
ドイツ	18	日本	17	台湾	15	フランス	8
イタリア	6	カナダ	6	シンガポール	6	スウェーデン	6
オーストラリア	4	スペイン	4	タイ	4	オランダ	3
香港	3	デンマーク	3	ルーマニア	3	フィリピン	3
アイルランド	2	ベルギー	2	イスラエル	1	インド	1
インドネシア	1	オーストリア	1	スイス	1	チェコ	1
トルコ	1	ノルウェー	1	バブアニューギニア	1	ハンガリー	1
フィンランド	1	ブルガリア	1	ベトナム	1	ポーランド	1
マレーシア	1	ルクセンブルク	1				

■寮プログラム

早稲田奉仕園の学生寮は国際的な相互理解と交流をめざす教育プログラムを実施しています。

●ウェルカムパーティー

4 月 5 日の RA 主催イベントには 50 名、10 月 4 日の友愛学舎主催パーティーには 100 名ほどの寮生が集いました。リバティホールでの開催は 5 年ぶりでしたが、軽食を取りつつ自己紹介やゲームなどを通じて交流を深める楽しい時間となりました。



●奉仕園クリスマス会

12 月 14 日、寮生を中心に約 50 名がスコットホールに集まり、心温まるひと時を過ごしました。ろうそくを灯し過ごす「しずかなひととき」、留学生や RA によるカラオケ大会、友愛学舎生による友愛劇などでとても充実したプログラムが行われ、その後、寮ロビーに場所を移してピザパーティーを行い、賑やかで楽しいクリスマス会となりました。



● Cooking Exchange Program

5月23日と1月16日の計2回、留学生とRA、友愛学舎生、担当職員が参加して日本の食文化の1つであるお弁当を食べました。お弁当は、早稲田奉仕園が長らくお世話になっている早稲田の老舗「たかはし」が心を込めて作った二重弁当を用意しました。初めて和食のお弁当を食べるといふ留学生も多く、弁当箱の小さな仕切りごとに詰め込まれた多様な食材に、日本の食文化の奥深さを実感している様子でした。また、食事をしながらの交流タイムを通じて、留学生たちが互いに親睦を深める貴重な時間となりました



●留学生スキー研修@万座温泉

1月11日～12日、群馬県にある万座温泉を訪れ、スキー・スノーボード体験をしました。留学生11名、RA1名、友愛学舎1名が参加しました。また今回は、奉仕園で多文化共生のためのボランティア講座の講師を務められている福村真紀子先生にスキーインストラクターとして同伴いただきました。先生のていねいな指導を受けて、楽しみながら上達することができました。また、宿では美味しい食事と温泉を満喫し、参加者間で懇談する時間を持つことができ、良い交流の会となりました。



■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派学生寮のネットワークです。友愛学舎を含む10学寮（信愛学舎、山手学舎、山上学寮、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、東大YMCA寮、一橋YMCA寮、同志会学生寮）の担当者による会合は開催できませんでしたが、見学や入寮希望の問い合わせ等で連携を取りました。

収益事業

■セミナーハウス（会議施設・ホール施設の貸与）事業

■施設の貸与

●会議室・ホール

学習会、語学教室、音楽練習やコンサート、講演会など学生・市民による学びの場・発表の場として多岐にわたってご利用いただきました。コロナの終息に伴い、特に大学サークルや外国語・朗読・文芸・詩作サークルの定期的な利用が顕著でした。

●ギャラリー

絵画展だけでなく様々なジャンルの展示利用があり、リピーターも増えました。

4月10日～ 4月14日	STILL ビルマ（ミャンマー）人難民画家マウンマウンティン絵画展 2024
5月31日～ 6月 5日	透きゆく明日（布織物）
6月22日～ 6月30日	鈴木大喜 写真展「gift from camino」
7月16日～ 7月20日	ウラジミール・ナセトキン展《ヴェネチア詩篇》（ロシア現代美術）
10月10日～ 10月13日	祭ばやし展（書道）
10月24日～ 10月27日	Contemporary Japanese Violin Makers（楽器）
11月 6日～ 11月11日	モザイクアートの多様性—イタリアと日本のはざままで
11月12日～ 11月16日	川口恭子作品展～型染と型紙～
11月22日～ 11月24日	花教室ゆめはな・フラワー教室花音 5 教室合同作品展 HAPPY CHRISTMAS 私達からの贈りもの
11月27日～ 12月 1日	永遠に決まらないかたち（絵画）
12月 6日～ 12月 8日	株式会社ファム サロンコンサート&アンティーク展 冬の音楽散歩
12月12日～ 12月17日	渡辺禎雄型染版画 ～齋藤治子コレクション Vol.8～

●撮影

フォトウエディング、ファッション雑誌・カタログ用の撮影で多くの利用をいただきました。

●スコットホール補修

2023年度、24年度で、講堂照明、廊下と階段部分の大規模補修を行いました。床に敷かれていた絨毯をはがし、建物本来のナラ材の美しい木目を復活させました。

■セミナーハウスプログラム

●「サイトウヤスヒロ展」

9月13日～9月18日にかけて、サイトウヤスヒロさんの絵画展をスコットホールギャラリーにて開催し、60名の来場がありました。サイトウ氏は武蔵野美術大学大学院美術科油絵コースを修了後、フランス・パリのアカデミー・グラン・ショミエール美術学校、パリ美術大学で学び、ル・サロン展 (Soci te des Artistes Franais SALON) やドートンヌ展 (Salon D'AUTOMNE) で入選。以来、日本やフランスで個展を開催しています。

●チャリティ古本市

常設としてセミナーハウスロビーで開催された古本市の売上は、計12,050円でした。2025年度の売上と併せてアトゥットミャンマー（ミャンマー地震支援）に寄付する予定です。皆様のご協力に感謝いたします。

●スコットホール公開日・ガイドツアー

例年の秋季に加え、春季も新たに公開日を設けました。5月30日の参加人数は37名と少なめでしたが、日比谷花壇と共催して行ったギャラリーでのコーヒーサービスでは、ウェディングフォトや葬儀について詳しくご案内できました。10月の公開は106名の参加があり、年間のべ160名の方々にスコットホールの魅力を伝えることができました。



●写真セミナー

11月2日、写真家の北田英治さんを講師に迎えスコットホールで撮影セミナーを開催、学生から社会人まで幅広い世代の10名が参加しました。撮影方法やスコットホールについての座学の時間を設けた後、参加者の方にスコットホールを自由に撮っていただける撮影タイム、そして最後には感想発表と講評を行いました。写真撮影に不慣れな方にとっても、各自がじっくりと空間と向き合える時間となりました。



■駐車場・貸事務所等の賃貸、管理受託事業

月極駐車場、事務所の賃貸のほか、キリスト教会への施設貸出をしています。また、隣接する早稲田大学施設の管理もおこなっています。

■避難訓練

毎年1回、早稲田奉仕園・AVACO・キリスト教会館の3者合同で避難訓練を行っています。今回は初めて日曜日に開催しました。この地で礼拝をささげている教会関係者や建物の管理者が顔を合わせ、災害時に備える良き機会となりました。



■決算報告

正味財産増減計算書 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:円)

科目		金額	
I. 一般正味財産 増減の部	1. 経常 増減の部	事業収益	269,329,147
		受取補助金収益	5,500,000
		受取寄付金収益	3,677,213
		受取会費収益	790,000
		雑収益	155,515
		受取保証金償却益	3,125,000
		経常収益計	282,576,875
	(2) 経常費用	事業費	235,468,091
		管理費	18,218,292
		経常費用計	253,686,383
当期経常増減額		28,890,492	
2. 経常外 増減の部	(1) 経常外収益	経常外収益計	0
	(2) 経常外費用	経常外費用計	0
	当期経常外増減額		0
税引前当期一般正味財産増減額		28,890,492	
法人税、住民税及び事業税		6,122,687	
当期一般正味財産増減額		22,767,805	
一般正味財産期首残高		779,702,174	
一般正味財産期末残高		802,469,979	
II. 指定正味財産 増減の部	当期指定正味財産増減額		2,556,241
	指定正味財産期首残高		12,360,813
	指定正味財産期末残高		14,917,054
III. 正味財産期末残高		817,387,033	

貸借対照表 (2025年3月31日現在)

(単位:円)

科目		金額	科目	金額		
I. 資産の部	1. 流動資産	129,592,656	II. 負債の部	1. 流動負債	113,549,542	
	2. 固定資産	(1) 基本財産		474,061,413	2. 固定負債	339,081,983
		(2) 特定資産		30,927,774	負債合計	452,631,525
		(3) その他 固定資産	635,436,715	III. 正味財産 の部	1. 指定正味財産	14,917,054
	固定資産合計	1,140,425,902	2. 一般正味財産		802,469,979	
資産合計		1,270,018,558	正味財産合計		817,387,033	
			負債及び正味財産合計		1,270,018,558	

■役員等名簿（2025年3月31日現在）

理事

理事長（代表理事）	内田勝一（早稲田大学元副総長）
専務理事	阿部千秋（早稲田奉仕園）
常任理事	相賀昇（日本基督教団田園都筑教会牧師） 古賀博（日本基督教団早稲田教会牧師） 吉原洋（エコノミスト）
理事	稲垣隆一（弁護士） 小川忠（跡見学園女子大学教授） 土屋忍（武蔵野大学教授） 篠原初枝（早稲田大学教授） 名取智子（日本キリスト教海外医療協力会事務局次長） 西川嗣夫（早稲田奉仕園）

評議員

天田信義（日本メディア教育株式会社）、伊藤圭之（京都市役所）、
大江浩（賛育会赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト事務局長）、
尾内一美（早稲田大学国際部事務部長）、岡崎菜佳子（日本基督教団都民教会牧師）、
小川有閑（浄土宗蓮宝寺住職）、関伸子（カンバーランドキリスト長老教会東小金井教会牧師）、
杉尾麻帆（ヨンソンテコンドー道場）、友金孝夫（早稲田大学学生部事務部長）、
原真由美（関東学院大学講師）、土方恭子（弁護士）、李明生（日本福音ルーテルむさしの教会牧師）

※石川良一（～2024年6月16日）／天田信義（2024年8月7日～）

監事

大橋正明（恵泉女学園大学名誉教授）、山崎龍一（お茶の水クリスチャンセンター常務理事）

機関紙、報告書をご希望の方は郵送いたしますので、メール（press@hoshien.or.jp）にご連絡ください。

- ・奉仕園通信（機関紙）
- ・沖縄フィールドワーク報告書（冊子）
- ・日中韓大学生相互交流ワークショップ in 韓国報告書（冊子）
- ・友愛学舎文集（冊子）



www.hoshien.or.jp



公益財団法人 早稲田奉仕園

発行日 2025年8月10日

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-1

Tel 03-3205-5401 Fax 03-3205-5413

